

平成6年10月24日

漫画文化の発祥の地「トキワ荘」ゆかりの豊島区で

『青少年まんがコンペ』

優秀作品展示会を豊島区役所ロビーで28日まで開催

豊島区役所（東池袋1-18）1階ロビーで24日、『青少年まんがコンペティション94』に応募のあった作品を紹介する『青少年まんがコンペティション94作品展示会』が始まった。期間は28日まで。時間は午前9時から午後5時（最終日は午後3時まで）。

この『青少年まんがコンペティション』は、少年少女達に漫画の表現の楽しさを知ってもらい、自分たちの身の回りの世界を見つめ直すきっかけになればと、区女性青少年課が91年から開催しており、今年で4回目。これまで選考委員長に、第1回は石ノ森章太郎、第2回は藤子・F・不二雄、第3回は藤子不二雄A、そして今回のつのだじろうの各氏を迎え実施している。

今回は、小学生部門134点、中学生部門5点、一般部門266点の計405点の応募があり選考の結果、一般部門最優秀賞の高橋道子さん（佐倉市在住）を始め、優秀賞8点（小学生部門3点、中学生部門1点、一般部門4点）、佳作7点（小学生部門2点、一般部門5点）の計16点が入賞した。なお、小学生部門と中学生部門の最優秀賞は該当者がなかった。今回展示されているのは、これらの入賞作品を始めとするいずれもブロンズ賞の力作約100点。

なお11月19日には、豊島区立男女平等推進センター「エポック10」で、選考委員長つのだじろう氏と片山雅博氏によるトークショーと表彰式が行われる予定。

＊

＊

＊

豊島区と漫画の関係は、かつて同区旧椎名町（現・南長崎3）に1952年、1軒の木賃アパートが建てられたことに始まる。家賃3000円、入口が半間の板敷、押し入れ付きの4畳半で、炊事場、トイレは共同といった当時の典型的なアパート。それが漫画文化発祥の地と言われている「トキワ荘」である。この「トキワ荘」に1953年から1961年の間、故・手塚治虫氏を始めとして、寺田ヒロオ、赤塚不二夫、石ノ森章太郎、藤子不二雄の各氏など現在の漫画界の第一人者が住んでいた。この「トキワ荘」も1982年12月老朽化のために建て替えられ、当時の面影は区立郷土資料館（「トキワ荘のヒーローたち 漫画にかけた青春」）等の資料に求めるしかない。当時は「漫画少年」「少女クラブ」といった漫画月刊誌を舞台にたくさんの新人漫画家が活躍を始めた時代で、「トキワ荘」はいつも漫画仲間や出版関係者で賑わっていたと言われている。なお、手塚治虫氏が「トキワ荘」の次に住んだ「並木ハウス」（雑司が谷3）は、手塚氏が当時使った部屋をそのままに、大切に保存されているという。

詳細 女性青少年課